

第5章 公共施設最適化計画に向けた取り組み

1.伊賀市公共施設マネジメントシンポジウム

今後、公共施設最適化（マネジメント）を進めるにあたって、公共施設に関する現状と課題を市民のみなさんと共有するためにシンポジウムを開催しました※18。

＜シンポジウムの実施概要＞

- ・ 開催日：平成26年8月2日（土）13：00～15：00
- ・ 会 場：三重県伊賀庁舎 7階大会議室
- ・ 参加者：86名 うち、アンケート回収数66件（回答率76.7%）

アンケートの主な意見（計14件の意見が寄せられた）

No	概要
1	市長自らが登壇者になっていることが、市の本気度を感じ良かった。がんばってもらいたい。
2	もっと厳しい内容であってもよい。
3	どんな政策でも立案から実施と検証まで常に民間が企業を運営する覚悟で事にあたってください。
4	中心部から離れた地域住民のことを大切にしてもらいたい。危機感を市全体で共有しなければならない。
5	自治協議会、各種団体の人にもこのような行政事情を理解し、情報共有し、市民意識を高めることが必要。
6	施設の統廃合や複合化など可能性があるものは全てやるべき。ただ、伊賀市の「広さ」を考えると整理と同時に公共交通のあり方も考えなければうまくいかないのではないかな。
7	市民サービスにおいて、名張市など他市と共同実施するべきではないかな。
8	県や他の公共機関と公共施設の利活用を進めるべきではないかな。
9	大型事業を進めるよりも、これを強力に進めていくべきだと思います。

※18 シンポジウム当日の様様や配布資料などについては、市のHPに掲載しています。

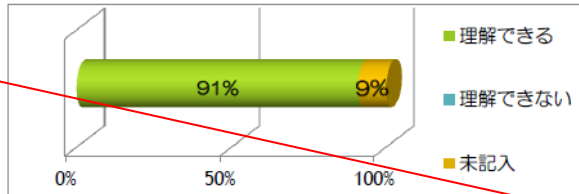
<http://www.city.iga.lg.jp/ctg/O8526/O8526.html>

アンケート結果

質問6 公共施設マネジメントについてご意見・ご感想をお聞かせください。

① 必要性について

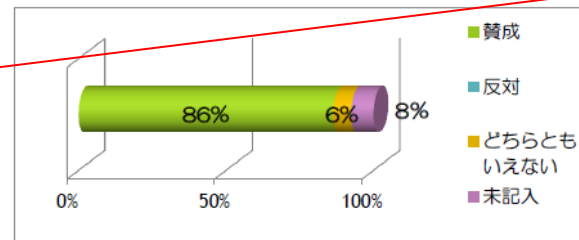
選択肢	人数(人)
理解できる	60
理解できない	0
未記入	6
計	66



施設マネジメントの重要性や必要性については、概ね「総論賛成」の傾向となっています。

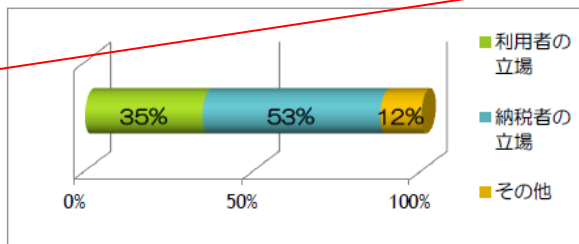
② 実施について

選択肢	人数(人)
賛成	57
反対	0
どちらともいえない	4
未記入	5
計	66



③ 公共施設は、市民の皆さんの税金で維持・運営をしています。今後施設の存続・廃止・複合化等を考えるうえで何が重要と考えますか？

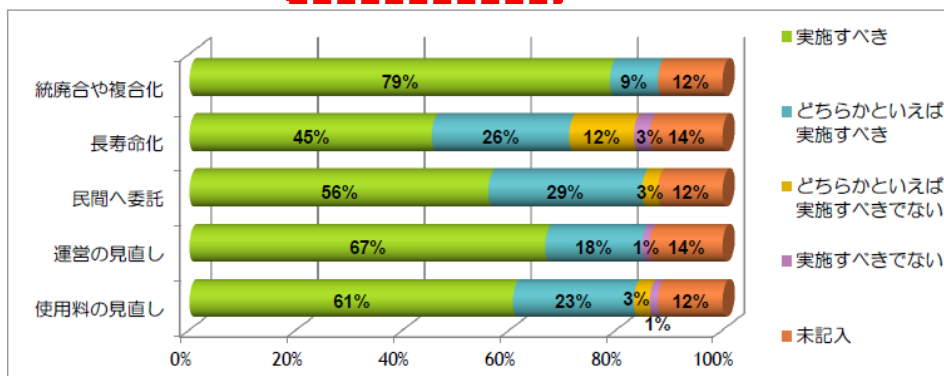
選択肢	延べ人数(人)
利用者の立場	23
納税者の立場	35
その他	8
計	66



施設の統廃合などについては、市民の負担(納税者の立場)を重視すべきとの意見が最も多くなっています。

④ 子や孫の世代に”ツケ”を残さないためにも公共施設のあり方を見直さなければなりません。あなたならどうしますか？

質問	選択肢(人)	どちらかといえば		実施すべきでない	未記入
		実施すべき	実施すべきでない		
施設の統廃合や複合化	52	6	0	0	8
施設の長寿命化	30	17	8	2	9
民間に施設の運営・管理を委託	37	19	2	0	8
施設運営(サービス)の見直し	44	12	0	1	9
施設使用料の見直し	40	15	2	1	8



将来世代への負担回避のための方策については、概ね賛成の傾向がみられますが、長寿命化については、実施すべきでないとの意見も多くなっています。

2.伊賀市公共施設最適化計画中間案 住民説明会

伊賀市公共施設最適化計画中間案の公表にあたって、市民のみなさんへの説明会を開催しました。

<住民説明会の実施概要>

- ・ 開催日：平成26年10月29日（水） 19：00～21：00
- ・ 会 場：ゆめぼりすセンター 2階 大会議室
- ・ 参加者：97名 うち、アンケート回収数67件（回答率69.1%）

当日の主な質疑（計15件の質問・意見が寄せられた）

No	概要
1	施設の統廃合や複合化によって、移転した施設までの交通は？
2	地区集会所を地元に譲渡した場合、今後の経費などは地区で賄うのか？
3	支所機能の見直しと、今回の最適化計画の関係は？
4	市は、自治協議会と連携して計画を進めていくべき。
5	非常に重要な計画のため、拙速に進めることは避けるべき。
6	スピード感を持って早めに取り組むべき。早期に取り組んだ方が財政負担がより軽減される。
7	施設の統廃合によって、防災面の機能確保や過疎化の進行が課題となるのでは？
8	コスト面の実施効果を明示すべき。
9	既存の施設を資産経営的な観点で有効活用すべき。
10	公共交通計画との連携を図るべき。

住民説明会の様子

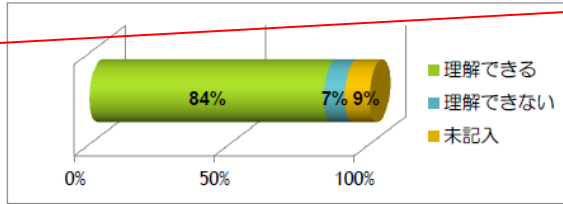


アンケート結果

質問6 公共施設最適化（マネジメント）の取組みについてお聞かせください。

① 必要性について

選択肢	人数（人）
理解できる	56
理解できない	5
未記入	6
計	67



理解できない理由

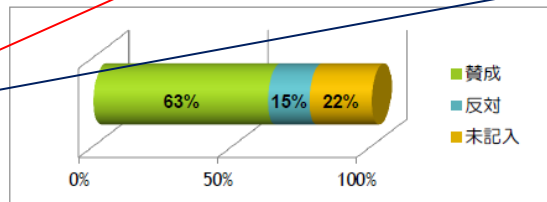
- ・特に防災に関係した施設の今後の方向が示されていない。
- ・総合計画との整合性がない。
- ・人口の減少ばかり理由に計画しているが、人口増に取り組む意思は無いのか。企業誘致とか。
- ・人口減少というが、高齢者が多くなり反対に施設の利用度が増えると思う。

など

施設マネジメントの必要性や実施については、「理解できる」「賛成」という回答が多くを占めており、概ね「総論賛成」の傾向となっています。

② 実施について

選択肢	人数（人）
賛成	42
反対	10
未記入	15
計	67



反対の理由

- ・耐震補強して残す必要がある。災害時の一時避難場所として利用できる形で残すべき。
- ・選択基準が不明確。
- ・すべて同じとはいえない。
- ・施設を利用する市民の側に立って考えてほしい。
- ・合併前からの施設であるため、必要であった施設は金銭以外に保存使用する。
- ・各地域の実情を何も検討された経過が示されていない。
- ・主に郡部において「縮小」になっている。過疎に拍車がかかる恐れがある。公共施設の統廃合で地域が活性化するか。

など

どうすれば良いか

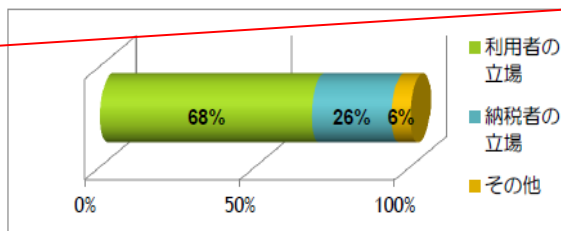
- ・地域の意見を重視してほしい。
- ・実態をみて行う。
- ・財源不足を補うためには削減ばかりに偏らず増税の施策を講ずべき。

など

防災や財源、人口減少、地域性などの観点から、公共施設最適化の取組みによるマイナス面を懸念する意見もみられます。

③ 公共施設は、市民の皆さんの税金で維持・運営をしています。
 今後施設の存続・廃止・複合化等を考えるうえで何が重要と考えますか？〈複数回答〉

選択肢	延べ人数(人)
利用者の立場	45
納税者の立場	17
その他	4
計	66



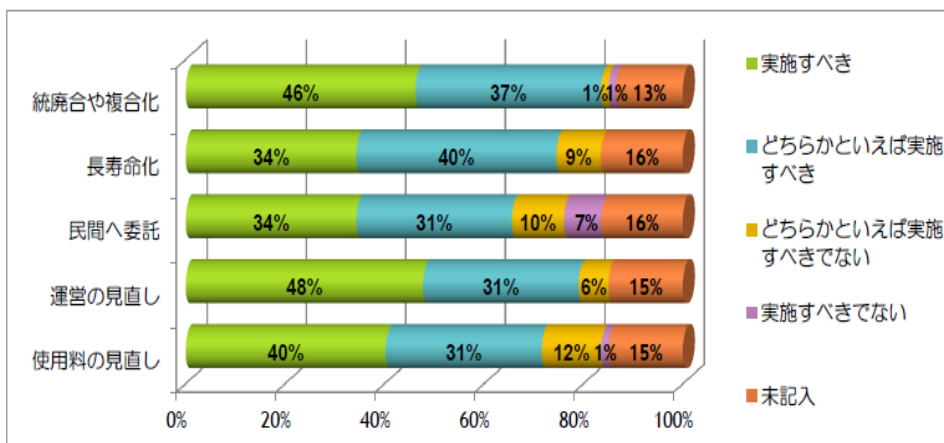
施設の統廃合などについては、施設利用者の立場を重視すべきとの意見が最も多くなっています（公共施設マネジメントシンポジウムでは、納税者の立場が最も多かった）。

（その他の意見）

- ・地域コミュニティの拠点としての考え方
- ・市全体的、地域間格差、将来性など総合的に判断
- ・高度成長期、バブル時期に「ハコモノ」と呼ばれるものを積極的に建てたのはだれであったか？④は行政のひとり言である。市民を「ナメルナ」と言いたい。（基本的には賛成である）
- ・各地域の特性

④ 子や孫の世代に”ツケ“を残さないためにも公共施設のあり方を見直さなければなりません。あなたならどうしますか？

質問	選択肢(人)	どちらかといえば			実施すべきでない	未記入
		実施すべき	実施すべき	実施すべきでない		
施設の統廃合や複合化		31	25	1	1	9
施設の長寿命化		23	27	6	0	11
民間に施設の運営・管理を委託		23	21	7	5	11
施設運営(サービス)の見直し		32	21	4	0	10
施設使用料の見直し		27	21	8	1	10



将来世代への負担回避のための方策については、概ね賛成の傾向がみられますが、「民間に施設の運営・管理を委託」「施設使用料の見直し」については、実施すべきでないとの意見も多くなっています。

3.伊賀市公共施設最適化計画中間案 支所別意見交換会

<支所別意見交換会の実施概要>

- ・ 開催日：平成26年11月10日（月）～平成26年11月17日（月）
19：30～21：00
- ・ 参加者：216名 うち、アンケート回収数166件（回答率76.9%）

日時	地区名	会場	参加者数
平成26年11月10日（月）	大山田	農村環境改善センター	38名
平成26年11月12日（水）	阿山	阿山保健福祉センター	43名
平成26年11月13日（木）	青山	青山福祉センター	57名
平成26年11月14日（金）	伊賀	いがまち公民館	44名
平成26年11月17日（月）	島ヶ原	島ヶ原地区市民センター	34名

アンケートの主な意見（計34件の意見が寄せられた）

No	概要
1	高齢化が目前に迫る。へき地に住みつづける市民の暮らしをどう守るか。公共交通機関の網が緊急課題。
2	支所機能などサービスは必ず残してほしい。
3	パブリックコメントや意見交換会の結果に対する市なり検討委員会の見解を公表すべき。
4	高齢化が進むと近くに公共施設が必要。若者の流出対策が必要。
5	市民の声を大事にしてほしい。
6	地域の意見を地区毎（自治協）に聞かないと、まとまらないと思う。
7	地区にある小学校（廃校）を複合施設にして、地域の方が歩いて行くことができるし、災害時にもいいのではないかと、考えてほしい。
8	人口減で、住む人がいない街には、公共施設等は、何もいらなと思います。子供達に住んでもらいたいという市になるよう考えてやっていって欲しい。
9	将来にツケを残さぬよう、お願いする。
10	ハード面の取り組み計画よりも、ソフト面での利用率向上のための最適化計画の作成が必要である。
11	無くす事を早く決めて、代替機能をどうするか説明すべき。
12	地域に密着した問題なので、もう少し検討する時間が必要なのではないか。

【支所別意見交換会の目的と実施手順について】

伊賀市公共施設最適化計画検討委員会 委員 吉村 輝彦
(日本福祉大学 国際福祉開発学部国際福祉開発学科 教授)

今回、住民意見交換会を開催した目的は、「公共施設最適化計画」の策定にあたって、市民のみなさんに計画内容を理解していただくとともに、多様な意見を収集することで、計画の策定に活かすためです。また、地域や市民が施設の課題を自分のこととして捉え、「公共施設最適化計画」の実施に向けて地域における自発的な活動を促していくためには、施設を利用する市民が計画策定に関わることが重要であると考えます。

今回の住民意見交換会では、従来から行われてきた行政が説明し、市民との質疑応答を行う「説明会方式」だけでなく、市民同士が意見交換を行う「討議型方式」としました。これは、「説明会方式」では、一部の人の意見を言うことに留まってしまう可能性があることから、「討議型方式」によって意見交換会に参加した多くの人たちが実際にどのような意見を持っているのかを確認するためです。また、「行政」対「市民」という構図ではなく、市民同士で意見交換をすることが地域の課題解決において重要であるという観点からも、「討議型方式」が望ましいと考えました。さらに、行政からの投げかけに対して、市民が意見を述べ合うだけでなく、地域や市民の目線からの前向きな提案を期待しました。

今回は、全体で1時間半という限られた時間のため、プログラムは、行政からの説明、市民によるグループごとの討議、全体コメントという構成としました。その中でも、グループごとの討議を優先しました。討議では、

- (1) 参加者全員が発言すること
- (2) 一人の発言は、長くないこと
- (3) 相手の意見を尊重し、最後まで聞くこと
- (4) 自分と異なる意見を否定しないこと
- (5) テーマに沿って前向きに考えること

をお願いしました。討議の進行は、グループ内で司会者を決めてもらうようにしました。また、市の職員は、討議の記録者や、討議の際に出てきた質問や意見に対して回答するなど、各グループにおける補助的な役割を担いました。

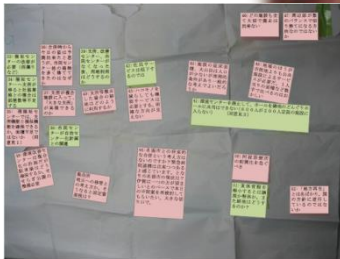
グループ討議では、まず、参加者が意見カード(付箋紙)に、それぞれ、意見や提案したいことを記入してもらいました。1枚の意見カードに1つの意見を記入してもらい、次に、参加者にひとりずつ、意見を発表してもらいました。各グループにおける参加者には、必ず1回は発言をお願いしました。発言したカード(付箋紙)は、模造紙に貼り付けていくことで意見の集約を図りました。以上までの考え方を確認した上で、状況に応じて、全体として、また、グループごとに、臨機応変な対応に努めました。

なお、意見交換会の実施後には、当日の振り返りを行い、次回以降の意見交換会において可能な限り進行の改善をしていくように努めました。

(1) 大山田地区における意見交換会の様子



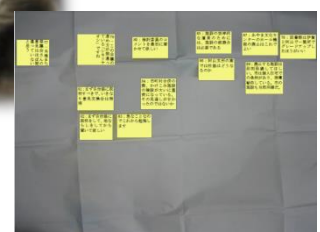
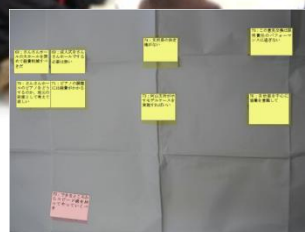
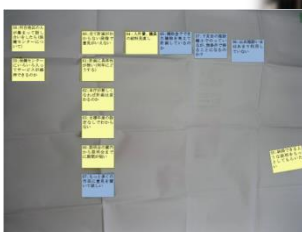
38名・4グループから
108件のご意見を
いただきました。



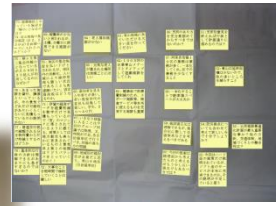
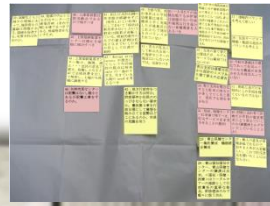
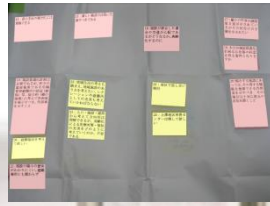
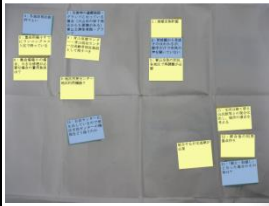
(2) 阿山地区における意見交換会の様子



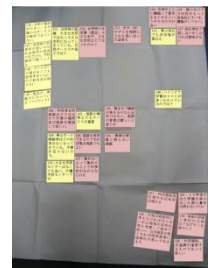
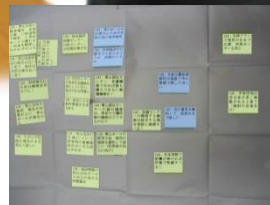
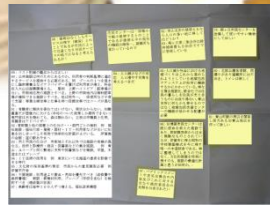
43名、6グループから
88件のご意見を
いただきました。



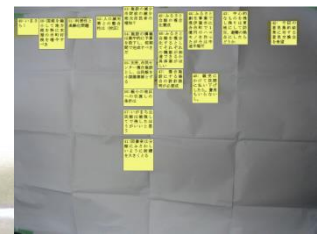
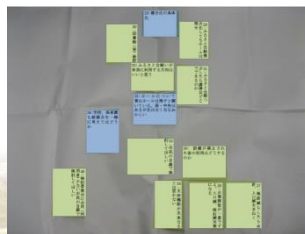
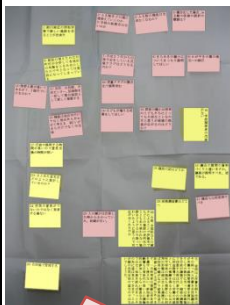
(3) 青山地区における意見交換会の様子



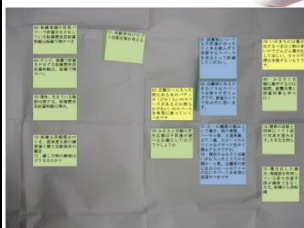
57名、8グループから
170件のご意見を
いただきました。



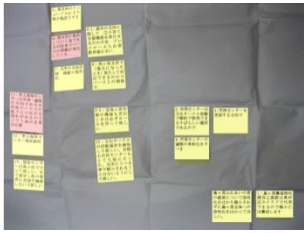
(4) 伊賀地区における意見交換会の様子



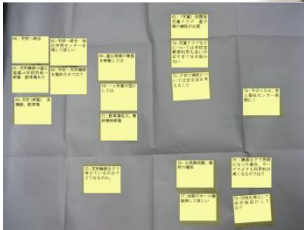
44名、6グループから
127件のご意見を
いただきました。



(5) 島ヶ原地区における意見交換会の様子



34名、6グループから
123件のご意見を
いただきました。

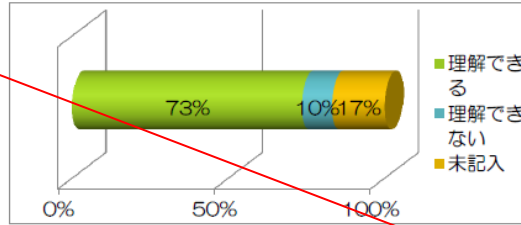


アンケート結果

質問6 公共施設最適化（マネジメント）の取組みについてお聞かせください。

① 必要性について

選択肢	人数（人）
理解できる	122
理解できない	16
未記入	28
計	166



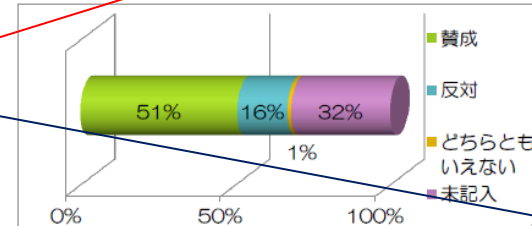
<理解できない理由>

- ・あまりにも一面的である。少し乱暴すぎる。
- ・金がかかるから整理するのではなく、本当の必要性を見きわめてほしい。
- ・具体例が足りない。
- ・内容がわからない。

施設マネジメントの必要性や実施については、「理解できる」「賛成」という回答が多くを占めており、概ね「総論賛成」の傾向となっています。

② 実施について

選択肢	人数（人）
賛成	84
反対	27
どちらともいえない	2
未記入	53
計	166



<反対の理由>

- ・「地方」「小地域」の切り捨てである。地域住民目線でない、旧上野市優先となりそうである。
- ・まだまだ議論不足、もう少し時間をかけるべき。
- ・意見集約がなされているとは思えない。
- ・全体像が明確でない。
- ・合理化方針のみ先行している。
- ・小中学校の今後の方向、行政バスの在り方、地域の活性化策等、一体として考えるべき。
- ・消滅集落が出て来ることを想定した行政の明確な姿勢が伺えない。 など

<反対の場合、どのようにすれば良いと思うか>

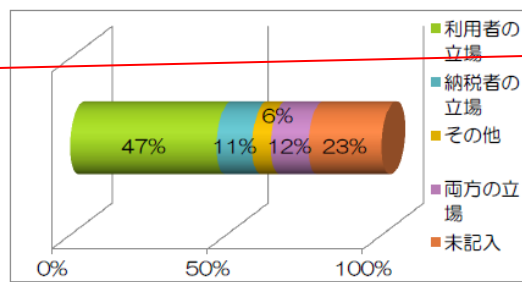
- ・もう少し議論を深める。もう少し時間をかける。もっと細かく検討すべき。
- ・意見交換をもう一度実施してほしい。
- ・理解できる手順で進めていく。
- ・市民生活に直結する部分は慎重に検討すべき。
- ・振興計画を加味した計画とされたい。
- ・住民の意見をよく聞いて、どこかで判断（市長）下さい。 など

実施については「反対」と回答した割合が1割以上を占め、人口減少、地域性、他計画との関連などの視点から、もう少し時間をかけて議論すべきとの意見がみられます。

③ 公共施設は、市民の皆さんの税金で維持・運営をしています。

今後施設の存続・廃止・複合化等を考えるうえで何が重要と考えますか？〈複数回答〉

選択肢	延べ人数(人)
利用者の立場	78
納税者の立場	19
その他	10
両方の立場	20
未記入	39
計	166



(その他の意見)

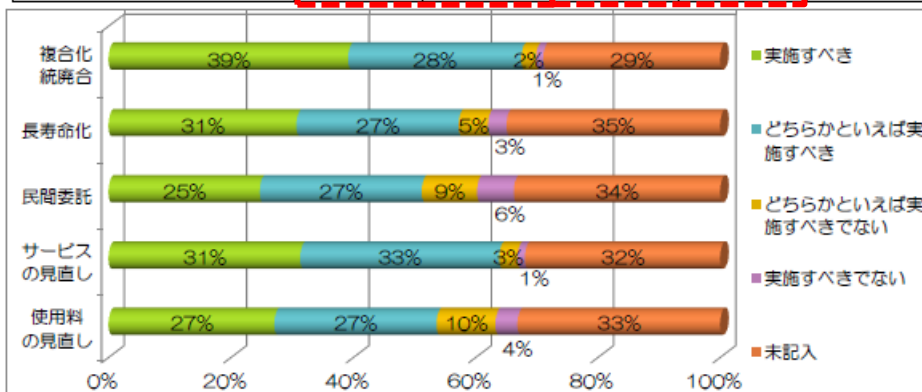
- ・バランスのとれた方策が大切。
- ・主権者、市民の立場で現状を切り拓く立場。
- ・過疎化する人の年代層の立場。
- ・人材の流出、地域住民、地域活性化の立場。
- ・総合的に考える立場。

など

施設の統廃合などについては、施設利用者の立場を重視すべきとの意見が最も多くなっています（公共施設マネジメントシンポジウムでは、納税者の立場が最も多かった）

④ 子や孫の世代に”ツケ”を残さないためにも公共施設のあり方を見直さなければなりません。あなたならどうしますか？

質問	選択肢(人)				
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきでない	未記入
施設の統廃合や複合化	65	47	4	2	48
施設の長寿命化	51	44	8	5	58
民間に施設の運営・管理を委託	41	44	15	10	56
施設運営(サービス)の見直し	52	54	5	2	53
施設使用料の見直し	45	44	16	6	55



将来世代への負担回避のための方策については、概ね賛成の傾向がみられますが、「施設の長寿命化」「民間に施設の運営・管理を委託」「施設使用料の見直し」については、実施すべきでないとの意見も多くなっています。